

104-300

問題文

本症例に対して、アムホテリシンBリポソーム製剤を静脈内投与することとした。この薬剤の投与に関して適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 溶解液を加えて振とうし、沈殿物が認められた場合は、添付のフィルターでろ過する。
2. 添付のフィルターは、アルコールで消毒すれば再使用できる。
3. 15分以内で静脈内に点滴投与する。
4. 投与中あるいは投与後に発熱、悪寒、悪心等が発現しないかを観察する。
5. 投与期間中は、腎機能を定期的にモニターする。

解答

問300：3, 5問301：4, 5

解説

問300

選択肢 1 ですが

真菌感染症は、皮膚などの表在性感染症と、臓器等まで侵される深在性感染症に分類されます。血を採って培養したら菌がいた、ということなので「深在性」です。表在性ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ST 合剤は葉酸合成阻害薬です。広いスペクトラムを有しますが、カンジダには用いられません。アムホテリシンB、フルコナゾール などにより治療します。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが

鳥類の糞便中増殖が感染源といえば、クリプトコッカスがあげられます。カンジダに関する記述としては不相当と考えられます。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、問 300 の正解は 3,5 です。

問301

選択肢 1 ですが

アムホテリシン B は溶けにくいいため、振とうし、沈殿物が認められた場合、きちんと溶けるまで激しく振盪します。添付のフィルターでろ過してしまうと、濃度不足になってしまいます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

フィルターは汚染を避けるため、使用直前に開封、速やかに使用し、各々のバイアルについて新品を使用します。「アルコールで消毒すれば再使用できる」わけではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

1日1回、1～2時間以上かけて点滴静注します。(97-262) よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 4 ,5 です。